

# 論文誌論文投稿規則

JS1-03-1

一般社団法人 日本経営工学会

(論文誌の機能と目的)

第1条 日本経営工学会論文誌(以下、論文誌という)は、経営工学に関連する領域における理論ならびに方法論の発展および普及のために、独創的な研究成果を公表することを目的として刊行される。

(論文の基本的要件)

第2条 論文等は以下の投稿区分のいずれかの基本的要件を満たしたものであることが必要である。なお投稿原稿は、他の刊行物に未発表のものに限る。

## 1) 原著論文 (Original paper)

1-a) 調査研究 (Review & Survey) : 文献調査、実態調査などの調査結果に含まれる問題、手法、事実に対して、それをオリジナルな視点で体系的にまとめた研究で、新しい知見や研究の枠組みの構築に学術的な価値を有するもの。

1-b) 理論・技術 (Theory & Methodology) : 科学的・工学的手法を用いて、問題解決の新しい方法論や原理原則を明らかにした研究で、解析、実験、計算、考察などにおいて学術的価値を有するもの。

1-c) 事例研究 (Case Study) : 現場における問題を取り上げ、既存の方法論や原理原則を問題の特徴に合わせて工夫して適用し、利用効果を客観的に評価した事例の研究で、波及効果が認められるもの。

## 2) 研究速報 (Research Letter)

新規性のあるモデルや手法、有効なデータや資料、アプローチなどの報告。

(使用する言語)

第3条 論文等は日本語または英語によるもののいずれかとする。

(論文等の分量)

第4条 原著論文 (Original Paper) の分量に制限は加えない。研究速報 (Research Letter) は4ページ以内とする。

(投稿原稿の採否および論文誌への掲載)

第5条 投稿原稿の採否および論文誌への掲載は投稿区分に応じ以下のように行う。

## 1) 原著論文 (Original Paper)

2名の査読者の審査結果に基づいた担当エリアエディタの提案を受け、日本経営工学会論文

誌編集委員会（以下、編集委員会という）が決定する。

2) 研究速報（Research Letter）

1名の査読者の審査結果に基づいた担当エリアエディタの提案を受け、編集委員会が決定する。

- 2 審査の結果、原稿内容の訂正を要請することがある。その場合、再提出原稿の提出期限は原則として3か月以内とし、それを超えた場合は新規投稿の扱いとする。

付則

1. 本規定は平成22年5月15日より施行する。